

# がん登録実務者のための 5大がん登録講座2022 第10回記念大会

## — アンケート結果報告 —

講師 江森 佳子先生 国立がん研究センター  
長谷部 昌先生 四国がんセンター  
寺本 典弘先生 四国がんセンター

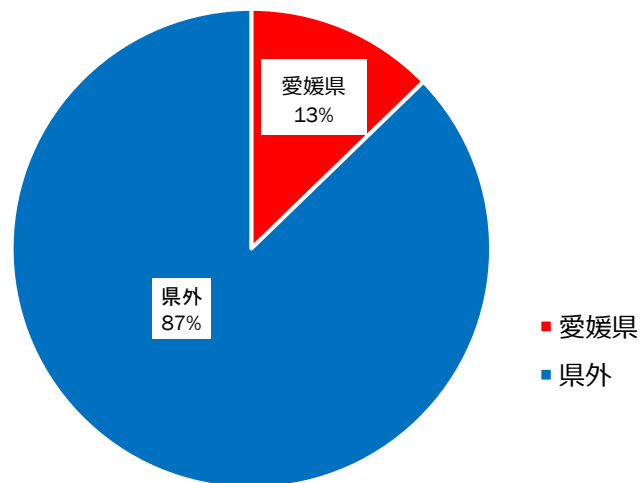
日時：2023年1月21日（土）  
申込人数合計：312名 拠点 38名 7施設  
推進 8名 4施設  
一般 6名 2施設  
県外 260名 152施設  
※県内52名（17%）・県外260名（83%）

アンケート回答数：148（回収率 47%）

# 1. 参加者について

参加者合計312名（愛媛県52名・県外260名）

参加人数割合

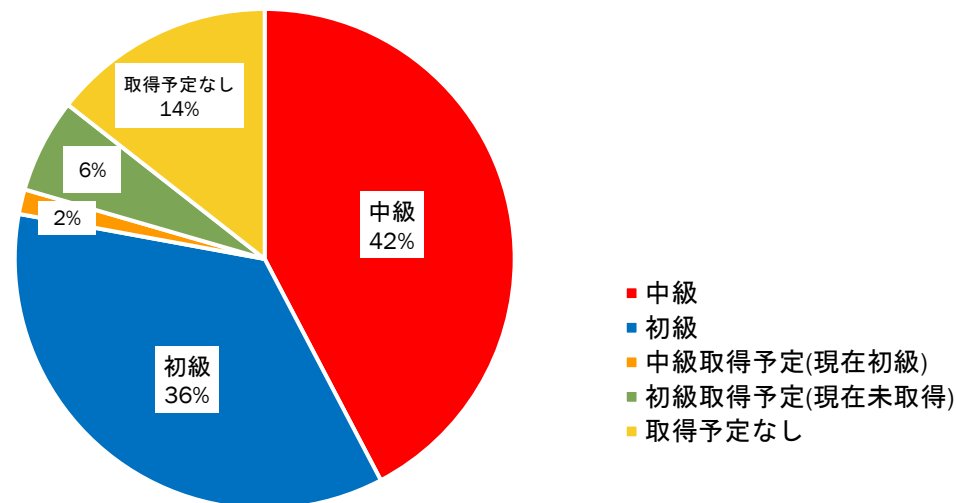


愛媛県内の参加人数は昨年とほぼ変わりませんが(53名→52名)、県外からの参加人数は約3倍増加(84名→260名)しました。全国から多数ご参加いただき、ありがとうございました。

注目!

参加者所在地域	ベスト3
1位 大阪府	90名
2位 愛媛県	52名
3位 兵庫県	24名

院内がん登録実務者認定資格



参加者の取得資格を昨年と比べると、中級は4%減り(46%→42%)、初級は同じ割合(36%→36%)でした。今回は「取得予定なし」の方が増え(7%→14%)、日頃院内がん登録に携わっていない方々にも興味をもって参加していただきました。



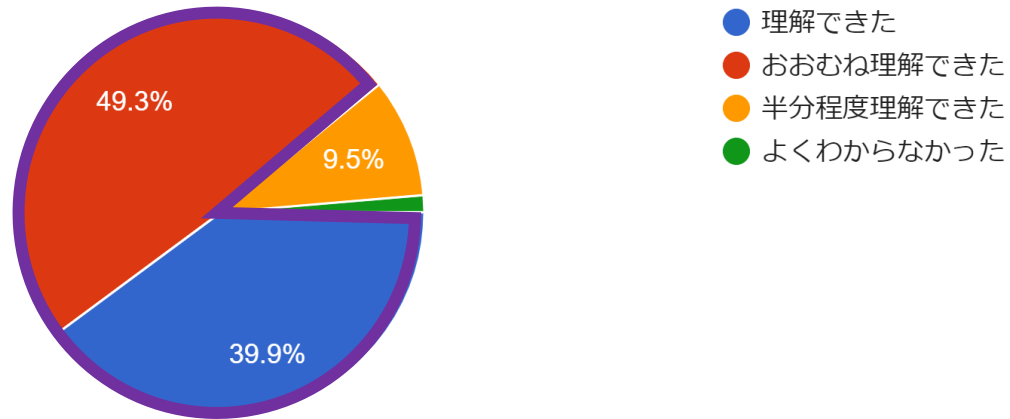
- 「取得予定なし」の方のがん登録への主なかわり
- ・全国がん登録
  - ・院内がん登録をしているが取得予定はなし
  - ・かかわっていない(他職種)
  - ・今後関わる予定



## 2. 講義について(1)

問3) 寺本先生の講義『がん登録に役立つ病理診断...事前質問への回答』について理解できましたか？

148 件の回答



約9割の方が理解できたと回答。  
がん登録において重要な病理報告書ですが、報告書の読み方、よくある言い回しの捉え方など分かりやすく解説していただきました。実務者と病理医の両方の視点からお話を伺えて、参加者の皆様からとても好評でした。



問4) 寺本先生の講義について感想をお聞かせください。

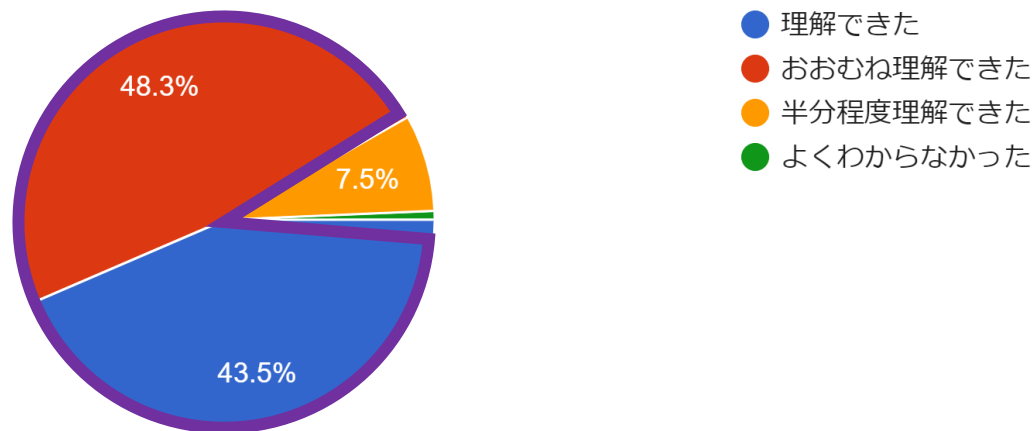
また問3で「よくわからなかった」と回答の方はどのような点がわからなかったですか？ (抜粋)

- ・登録をする上で何が困っているかを実務者の視点に立って情報提供してくれた。
- ・病理レポートの読み方とがん登録への反映の仕方がよく分かった。
- ・病理医話法についての講義がわかりやすく、読解方法がよく分かった。
- ・病理診断書によくある言い回しの解釈の仕方がよく分かった。
- ・病理報告書がなぜそのような表現をされているのか理解できた。
- ・病理診断の過程や・迅速・中間報告や染色診断など、こういった過程を経て診断しているのかもわかりやすく解説していただいて面白かった。
- ・病理報告書でよく使われる「可能性」や「疑い」の意味についてとても勉強になった。
- ・現場の医師の話や、難しいことをおもしろくお話くださるので、病理についての苦手意識が薄まった。
- ・院内がん登録と病理医の両方の視点からのお話を伺える貴重な機会だった。

# 3. 講義について(2)

問5) 長谷部先生の講義『がん登録に役立つ内視鏡...事前質問への回答』について理解できましたか？

147 件の回答



約9割の方が理解できたと回答。  
5大がんでは、胃・大腸の登録によくでてくる内視鏡的治療ですが、現場でどのように診断・治療判定を行っているのか知ることができ、とても興味深い講義内容でした。  
分かりやすい説明と実務者視点での解説もあり、実務に役立つ講義内容でとても勉強になったとの意見を多数いただきました。



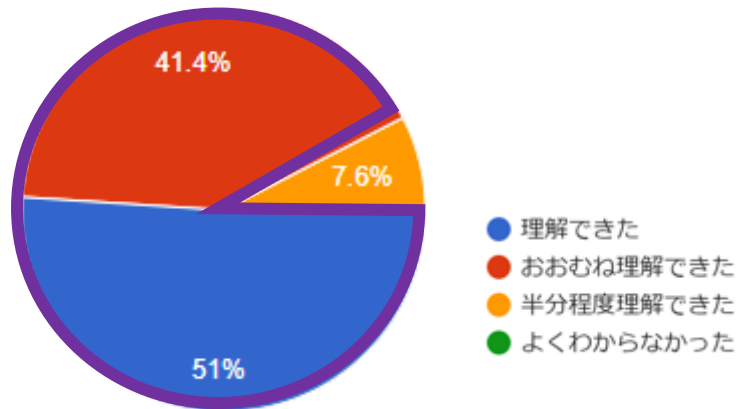
問6) 長谷部先生の講義について感想をお聞かせください。

また問5で「よくわからなかった」と回答の方はどのような点がわからなかったですか？ (抜粋)

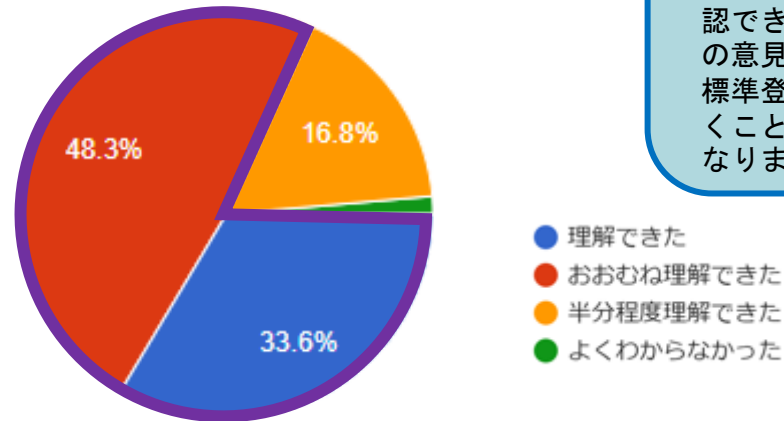
- ・登録をする上で何が困っているかを実務者の視点に立って情報提供してくれた。
- ・内視鏡治療の適応や染色の基準などを教えて頂き分かりやすかった。
- ・コールドポリペクトミーの適応、Under water EMRの方法が分かり今後カルテを読む際に理解して読めそう。
- ・普段はあまり理解できていなかった内視鏡診断について症例をあげていただき、病理診断に出てくる用語説明などそこが知りたかったというご講義で大変勉強になった。
- ・内視鏡の術式や実際の写真などがありイメージしやすく、すごく分かりやすかった。
- ・内視鏡治療について、丁寧な説明、詳しい解説が聞けてとてもわかりやすかった。
- ・治療適応範囲の判断基準など、今後カルテを読む際に参考になると思った。
- ・特にeCure systemと内視鏡的治療について詳細に理解しやすいようにご説明頂きとても有難く思った。
- ・内視鏡の専門医から講義をしていただけて貴重な機会だった。

# 4. 講義について(3)

問7.8) 江森先生の講義について理解できましたか？



『2022年症例からの登録ルール変更について』 145件の回答



『多重がんルールの概論と演習』 『事前質問への回答』 143件の回答

約8~9割の方が理解できたと回答。何度説明を聞いても実務になると迷うことが多い多重がんルール。今回実務症例を踏まえた演習問題を解説していただき「自分の誤った理解を再確認できた」「新しい気づきがあった」との意見を多数いただきました。標準登録様式のルール変更は、講義を聞くことで復習や再認識できる良い機会になりました。



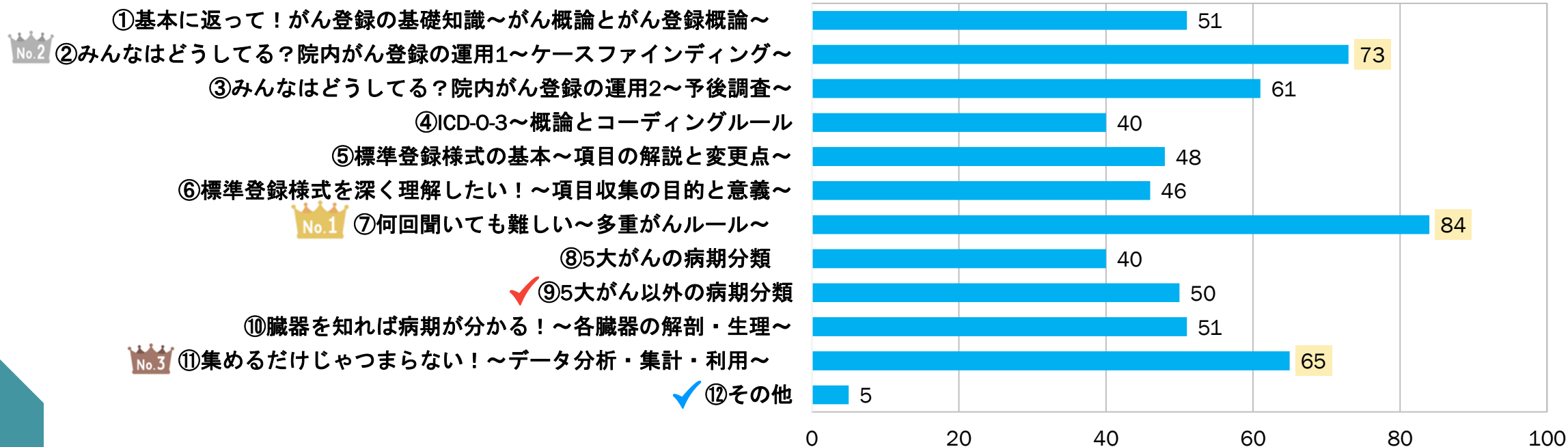
問9) 江森先生の講義について感想をお聞かせください。

また問7.8で「よくわからなかった」と回答の方はどのような点がわからなかったですか？ (抜粋)

- ・ 多重がん登録について理解が深まった。今回のような形式での演習を今後もやっていただきたい。
- ・ まだまだ多重がんルールについて勉強不足であることを痛感した。
- ・ 多重がんルールの演習問題が実務に沿った内容でとても良かった。
- ・ 演習問題を実施する事で再確認が出来、無病状態の基準日を理解する事が出来た。
- ・ 今回の事前問題はとても勉強になった。判断理由を言葉にして書くと自分の理解も深まった。
- ・ 無病状態の思い違いが自施設内であることに気づいた。今後の実務のために共有したいと思う。
- ・ 多重がんルールのM1から順番に下に進む理由が大変解りやすく、再確認できた。
- ・ 再発腫瘍が見つかったとき、固形腫瘍切除後のアジュバントで化学療法をしている期間など、無病期間の捉え方に悩んだが今回講義を聞いてよくわかった。
- ・ 事前質問で予後調査のことなど再確認できる貴重な時間だった。
- ・ 全国がん登録実務者のため、今後全国がんの方でも対応が必要になるであろう変更点等を知ることができてよかった。

# 5. 今後の受講テーマについて

問16) 「がん登録実務者のための5大がん登録講座」において、受講テーマ・聞きたいテーマがありましたらお聞かせください。  
(複数選択可) 146件の回答



✓【5大がん以外の病期分類の希望部位】  
1位 肝胆膵 (特に肝外胆管・遠位胆管)  
2位 造血器  
3位 頭頸部  
  
続いて、婦人科系・泌尿器系などの希望が多かった。

✓【その他・・・希望テーマ】  
・ ガイドラインについて  
・ がん登録での個人情報の取り扱い方  
・ オプトアウトについて  
・ UICC TNM分類第8版の序論を分かりやすく解説  
・ 画像読影レポートの解説  
・ データ分析・集計におけるExcelやAccessの使い方  
・ 遺伝子学的検査の意義や種類、検査方法

# 6.感想・要望等（抜粋）

アンケートのご協力ありがとうございました。



- ◆ 演習問題と解説で自分の誤った理解を自覚することができて、非常に勉強になりました。
  - ◆ 演習問題は、実際の症例に近くてわかりやすかったです。
  - ◆ 事前に配布いただいた資料で予習することもできましたし、初学者の自分でも、あらかじめ下準備をして講義を聴くことができたので良かったです。
  - ◆ 病理報告書を理解するのは難しいと感じていたので、今回の講義はとても勉強になりました。
  - ◆ どの講義も登録実務を行う際に役立つもので大変勉強になりました。
  - ◆ 講義の内容がどれも非常に興味深く、長時間と感じずに聴講できました。
  - ◆ 内視鏡診断や病理診断について、普段カルテ上のレポートでしか触れる事はありませんが、現場でどのように診断・治療の判定をおこなっているのか、とても興味深く聴講できました。
  - ◆ 長時間ではありましたが、このような機会がないと学習出来ないなので、次回も是非参加したいです。
  - ◆ 多重がんルールは難しく悩むことが多いためとても勉強になりました。
  - ◆ 今まで受講しました「がん登録」講座で一番素晴らしいと思いました。
  - ◆ 各スライド共、適格な文章やクリアな色彩のスライドで、とても理解しやすかったです。
  - ◆ なんとなく理解していたことが、確実な理解となる実務に役立つ講義内容でした。
  - ◆ オンラインでの実施だからこそ参加できました。非常に参考になる研修でしたので、今後もぜひオンラインで参加させていただけると有り難く思います。
- ◇ お昼休憩が短かった。もう少し長くってほしい。（→申し訳ございません。時間配分を再検討いたします。）

第10回記念大会は、全国各地から例年よりも多くのみなさまにご参加いただきました。どの講義も興味深く、実務に役立つ内容だったとみなさまからご好評をいただき嬉しく思います。スタッフ側の不慣れで行き届きの点もあったと思いますが、今回の反省点とみなさまのご意見をもとに、来年度の講座がより良いものとなりますよう工夫してまいります。次回お会いできる日を楽しみにしております。

